

公共施設マネジメント市民説明会 質疑応答の概要

《 1 日目 》

日 付 平成 29 年 11 月 15 日（水）午後 7 時～ 8 時

会 場 笠原中央公民館 3 階会議室 1

参加者数 15 人

1	
発言の要旨	①説明資料では、集約化の例として幼稚園の集約化が挙げられているが、職員数の減少によるサービスの低下が懸念される。 ②学校調理場について、調理場を複数建設する計画があると聞いているが、この計画は公共施設マネジメントの趣旨に反するのではないか。
回 答	①集約化により、職員数は少なくとも園長 1 名は削減可能である。サービス低下を招くような職員削減は行わない考えである。 ②調理場整備計画については、建設費や維持管理費、将来的な更新費用などの面で課題があり、現在見直しを進めている。
2	
発言の要旨	公共施設マネジメントの必要性は理解できるが、防災の観点を忘れないでほしい。旧市之倉体育館について、防災の観点から存続を要望する。
回 答	旧市之倉体育館については、地元市之倉区からの要望を受け貸与しているが、老朽化が進み耐震性もない。このまま使い続けることは難しいため検討を進めている。避難所の在り方については、今後は民間施設の活用も視野に検討を進めていく。
3	
発言の要旨	アンケート結果として「市民のニーズに合わない施設は減らしてもよい」とあったが、具体的にどういう意味か。
回 答	あまり使われなくなった施設や、時代の流れに合わなくなった施設などを意図している。
4	
発言の要旨	適正配置計画では、不要な施設は廃止し、公共施設が不足する地域には必要な施設の建設が進むものと期待しているが、どのようか。
回 答	根本的に市の公共施設は多いため、今ある施設の統合・複合化を進め、総量を圧縮していくべきと考えている。
5	
発言の要旨	公共施設マネジメントの意図は理解できる。 今後施設の統廃合を進めるに当たっては、交通網や統合先の駐車場整備などもあわせて考えてほしい。
回 答	交通網については市の課題として捉えている。あいのりタクシーや 200 円バスなどによる公共交通の充実や、渋滞解消に向けた道路整備の計画を進めている。

6	
発言の要旨	①公共施設とは建物のことを指すのか。 ②公共施設には建物の他に公園もあるが、公園の統廃合は考えないのか。
回 答	①公共施設とは、建築物を基本に考えている。 ②利用が少なくなった児童遊園の廃止などは、所管課で検討を進めている。

《 2 日目 》

日 付 平成 29 年 11 月 19 日（日）午前 10 時～11 時

会 場 バロー文化ホール 2 階大会議室

参加者数 14 人

1	
発言の要旨	①今後人口が減少し財政が厳しくなっていくということだが、人口減少対策は行わないのか。 ②人口減少が進んだ場合、小学校区ごとに人口減少の程度も異なると予想される。公共施設の統廃合は地域の実情を踏まえて考えていくべき。 ③今後は都市間競争が進むことが予想され、市の特徴を出すための施設には投資を行い、維持していくことも重要であるとする。
回 答	①移住・定住対策など人口維持への様々な対策は今後も力を入れて行っていく。 ②地域ごとの実情も考慮に入れて、今後計画を立てていく。 ③今後の参考とさせていただく。
2	
発言の要旨	①人口推計について、10 年後の人口はどのようなか。 ②公共施設の用途別延床面積の割合に「その他 15%」とあるが、具体的にどのような施設を指すのか。 ③市民一人当たり延床面積について、全国平均と比べ約 2 割多いとあるが、同規模の自治体と比べた場合はどのようなか。 ④公共施設マネジメントは市の最上位の計画（総合計画）にどのように位置付けられているか。 ⑤建て替えが必要な施設は、具体的にどのような施設か。
回 答	①単純推計によると、平成 37 年度時点の人口は 10 万人程度である。 ②スポーツ施設、保健福祉施設、公園の建物、火葬場、駐車場などである。 ③同規模の自治体と比べた場合も、市民一人当たり延床面積は約 2 割程度多い。 ④第 7 次総合計画に公共施設の適切な管理を明記して取り組んでいる。 ⑤本土児童館、坂上児童館、大原児童館は老朽化が進んでおり、対策が必要な状況である。

3	
発言の要旨	公共施設マネジメントを進めるに当たっては、各施設の維持管理コストをオープンにし、コスト面も考慮に入れた議論を進めてほしい。
回 答	平成 28 年度から公共施設白書を作成している。白書には、各施設の維持管理コストや施設種別ごとの比較なども記載してある。こうしたデータに基づき、今後議論を行っていく。
4	
発言の要旨	①今年春の地区懇談会では、約 3 割しか維持できないとの資料が配布され、今回資料には半分しか維持できないとある。この違いについて説明してほしい。 ②アンケート調査では、市民ニーズが少なくなった施設や稼働率が少ない施設は減らしてもよいという結果が出ているが、これは当たり前のこと。具体的な施設名称を明示した上でアンケート調査を行うべき。 ③必要な施設については、今後の維持コストを伴う行程表を提示した上で議論を進めていくことが市民にとって分かりやすいのではないか。 ④人口減少は重要な問題。学校の統廃合にも関わるため、地域ごとの人口推移を踏まえて公共施設の在り方を考えていくことが重要と考える。
回 答	①今回の資料には、公共施設だけで推計した場合の結果を記載した。地区懇談会の資料では、推計にインフラ（道路、橋りょう）を含め、インフラを優先して維持・更新する場合の公共施設の維持・更新可能な割合を示したため、違いが生じたもの。なお、今後計画に掲げる圧縮目標については、市の実情に合わせた修繕・更新単価及び期間を用いることとし、現在再計算している。 ②～④のご意見については、今後の参考とさせていただきます。
5	
発言の要旨	①こけいざん森の家の件で、笠原町の施設を利用するよう一部議員から発言があったが、余剰があるのならば笠原町の施設を優先的に廃止すべき。学校区ごとの公共施設床面積を出し、人口動態も考慮して、施設が多い所を優先的に廃止していくべき。 ②公共サービスの廃止はまちの魅力の減少、転入者減少につながる恐れがある。必要などころには投資し、人口増加・歳入増を図るための政策も考えるべき。
回 答	①地域ごとの人口データはあり、それらも考慮して検討を進めていく。なお、笠原地域の施設については、第 8 次行革の対象施設としていくつか挙がっている。 ②今後の参考とさせていただきます。

《 3 日目 》

日 付 平成 29 年 11 月 24 日（金）午後 7 時～ 8 時

会 場 根本交流センター 1 階小ホール

参加者数 16 人

1	
発言の要旨	①少子化により学校の空き教室が増え、市営住宅の空き部屋も多い状況が続いている。公共施設マネジメントの背景には財政難や少子化があると思うが、総論は市民にとって分かりづらい。施設ごとに市としての具体的な方針を出し、思い切って進めた方が早く進むのではないかな。 ②公共施設マネジメントは、地域ごとの将来の利用を勘案して進めるべき。
回答	①今後は学校の統廃合も避けては通れない。公共施設マネジメントは国、県においても必要と考えられており、市も着実に進めていく。現在は公共施設マネジメントの総論であるが、今後作成する素案をもって来年度行う説明会では、個々の施設についても具体的な説明を行う予定である。 ②今後の参考とさせていただく。
2	
発言の要旨	公共施設マネジメントはどんどん進めていくべき。 根本交流センターの成功の要因は、スタッフの質が高いことにあると考える。統廃合や設備の機能性よりも、人の質が重要なのではないかなという印象を持った。
回答	根本交流センターには地域を良く知った職員が配置され、地域とともに施設を盛り上げている。他の施設においても参考としたい。
3	
発言の要旨	児童館・児童センターでは子どもを中心とした事業を行っており、公民館においても同様の事業がある。公共施設マネジメントに当たっては、重複する事業をしっかりと見極め、進めてほしい。
回答	今後の参考とさせていただく。
4	
発言の要旨	市営住宅（高根、旭ヶ丘など）は棟数に対し空き部屋が多く、施設管理費に無駄があるのではないかな。他の住宅への転居を促進するなどの方策を考えてほしい。
回答	高根の市営住宅において、集約化を促進するための住宅建設の計画を進めている。集約化を進めることで、施設管理費の削減、跡地の有効活用を図っていく。